

# ごあら新聞

第53号

担当 會田みゆき

根の先に膿(うみ)が溜まる病気



## 歯根のう胞



「歯根のう胞」という歯の病気をご存知ですか？  
これは歯の根の先に膿が溜まる病気です。むし歯や歯周病とは違いあまり知られてはいませんが、実は一般的によくある口の中の病気です。

特に、以前に歯の神経を抜いたり、根の治療を受けたりした歯で、経過が悪いと起こりやすい傾向があります。もし放置すれば細菌の感染が広がり、我慢できないほどの激しい痛みに見舞われることもあります。

通常、歯の内部には俗に「神経」と呼ばれる「歯髓」が存在しています。しかし、むし歯が進行して歯髓に波及し、しだいに壊死(えし)に陥り感染すると壊疽(えそ)の状態になり、根の先に炎症が起こってしまいます。

膿とは、細菌と戦った白血球の死骸です。

## 細菌感染の原因

### ◆大きなむし歯

大きなむし歯が原因で細菌が歯の奥まで侵入し、炎症が歯の根の先に進み、顎の骨を溶かして抜歯せざるを得なくなることもあります。

### ◆治療後の劣化

一度神経の治療をした歯でも、時に経過不良となる場合があります。また、詰め物や被せ物が外れたままになっていると、再び細菌が侵入する事があります。どのような根管治療でも完全に根管内は無菌化にすることは出来ませんが、再治療になっても歯は出来るだけ残した方がよいので、根気よく治療を続けましょう。

### ◆神経がない歯が割れる

一度治療をして神経のない歯は枯れ木のようにもろく、弾力がないので噛む力に負けて割れやすくなります。その結果、歯が割れたりヒビが入ったりすると、細菌が侵入し歯の根に膿を作ってしまうます。

### ◆スポーツや事故で歯が割れる

神経のある歯でも、スポーツや事故などで歯に大きな衝撃がかかると歯が割れたりヒビが入ったりすることがあり、そこから細菌が侵入して歯の根に膿を作ってしまうます。

## 膿が溜まる病気は

## 歯根のう胞

歯の根の先に袋状のものが出来る病気を歯根のう胞と言います。のう胞とは身体の中にできる水風船のようなものです。これは、歯の神経がある管が汚れ細菌が繁殖した結果、その細菌と戦った白血球の死骸が膿となってたまった状態です。のう胞が大きくなると、歯の周りにある顎の骨を溶かすこともある怖い病気です。

### ◆自然治癒しない

歯根のう胞は自然治癒することはありません。放置すると細菌が顎の骨まで広がり大きな手術が必要となります。

### ◆根管治療の完治は難しい

初期の歯根のう胞は根管治療によって治癒します。しかし、しっかり治療しても再発する可能性が出てしまいます。歯の根は、曲がっていたり枝分かれています。そのため、一度細菌に感染してしまうと完全に無菌化は難しくなります。



歯根のう胞の症状は個人差がある様々です



◆症状がない

痛みや自覚症状がない場合もあります。しかしレントゲン撮影をすると歯の根の先に丸く黒い影が見えます。黒い影は骨が溶けてなくなっている為で、その部分には膿が溜まっています。

◆膿が出る

細菌は骨や歯ぐきを破壊していき、歯ぐきに小さな穴が開くと、そこから膿が出る事があります。膿はすっぱいような味と口臭があります。

◆歯が浮いた感じがする

膿のたまる量が多くなると袋は圧力がかかります。すると、歯を押しするような動きをして歯が浮いたような感じがします。特に疲れた時や風邪をひいた時など、身体の抵抗力が落ちると起こりやすい症状です。

◆オテキができる

歯ぐきに穴があくと、歯ぐきの部分にオテキのような膨らみができ指で押すと膿が出たり、破れると口臭が強くなったりします。

◆歯の痛み

噛むと膿が入った袋が歯を押ししたり袋の中の圧力が高まったりして、痛みが出ることがあります。または膿が入った袋が大きくなると周囲の神経を刺激して痛みが出ることもあります。

◆頭痛

上の歯の根に膿がたまると細菌が鼻の方へ進んでいきます。副鼻腔(鼻の周りの空間)に細菌が侵入すると、副鼻腔炎や蓄膿症の原因となり、頭痛が起こることもあります。

歯根のう胞の治療

う胞の大きさや歯の状態などにより、治療方法が変わります。

◆根管治療

う胞が小さい場合に行う歯の根の治療です。被せ物や詰め物をしている場合は全て外し歯の根を綺麗にし、再度細菌に感染しないように根の中に薬を詰めて、最後に被せ物や詰め物をします。

◆歯根のう胞摘出術

根管治療では治らない場合や被せ物を外せない場合に行う、歯ぐきを切開して膿の袋をとる治療です。手術は麻酔注射をして歯ぐきを切り開きます。骨を露出させたら炎症や感染のある場所を根の先と一緒に切除します。最後に、切り開いた歯ぐきを糸で縫います。炎症や感染があった場所は、数か月で骨に覆われ治っていきます。

◆う胞開窓術

う胞の壁を一部切除して膿の通り道を作り、膿を出す治療です。手術は、麻酔注射をして歯ぐきを切り開き、う胞の一部を切って膿を出します。一部だけを糸で縫って傷口開いた状態で膿が出るようにします。手術後、小さくなったう胞を摘出する事もあります。

◆抜歯

どの治療法もできないと判断した場合は、抜歯になります。

早期発見のおすすめ

歯根のう胞がある人でも、痛みなどの自覚症状が無い場合は病気の発見が遅れるケースもあります。また、歯の中は目に見えないのでレントゲン撮影も大切です。レントゲン撮影された影が、歯根のう胞ではなく腫瘍(身体の一部の組織や細胞が病的に増殖したもの)というケースもあります。歯に自信のある人でも定期的に歯科検診へ行き、お口の中の状態を確認すると安心です。

スタッフの広場



お花見に行ってきました。幼稚園の子供達が元気に「だるまさんがころんだ」をして遊んでいました★

會田

春はテンションが上がって行動力も高まりつつあります！そこで5月から運動始めます！まずはバランスクッションを買いました！がんばるゾー！

吉田

こあら先生の一言

ようやく気温も上がり、春らしい気候になりました。ジョギング出来ない小生は、ひたすらウォーキングに励んでおります。これで体重が減ると思えません、とにかく気持ちがいいので、時間がある時は歩き続けようと思っております。

毎年恒例の夜桜を観に行ってきました☆ライトアップされていたのでとってもキレイでした！！☆春満喫☆

阿部

アウトドアレジャーが楽しい季節が始まりましたね！今年こそは船舶免許をとって、色々な魚を釣りに行きたいです♡

堀